

お客様各位

■□=====

株式会社 京浜予防医学研究所

■□ KMLメールニュース □■ ◆◆ VOL.59 ◆◆

=====□■

株式会社 京浜予防医学研究所 よりお知らせ致します！

2015年 1月 24日発行

<http://www.kml-net.co.jp/>

新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年も宜しくお願い申し上げます。

KMLメールニュースVOL.59をお送り致します。  
お忙しい事とは存じますが御一読いただきまして、先生方の一助として頂ければ幸いです。

☆☆ トピックス ☆☆

- 【1】 アレルギー性鼻炎での原因アレルゲン - 花粉症 -
- 【2】 最近のC型肝炎ウイルストピックス
- 【3】 ロタウイルスにご注意を
- 【4】 KMLインフォメーション 11月～1月分のお知らせ

「1」 アレルギー性鼻炎での原因アレルゲン - 花粉症 -

春先にアレルギー症状がみられると、スギ・ヒノキの花粉症だと自己診断をしてしまう患者さんが多く見られます。しかし、「自分はスギ花粉症である」と自己判断した患者さんのうち、約60%はスギに加え、カモガヤなど他のアレルゲンに注意が必要であり、約20%は他のアレルゲンが原因であると考えられるケースが見られた報告もあります。※1

アレルギーの原因は一つとは限りません！  
<http://www.keihin.gr.jp/image/kml-pdf/allergy2015-01.pdf>  
ファディア（株）発行資料より抜粋

《2015年の花粉飛散予測》  
日本気象協会は、2015年春の花粉飛散予測（第2報）2014年12月3日によると全国的に大飛散が予測されています。関東甲信越では、前年と比較して250%（地方平均値）との飛散数の予測が報告されており、飛散数では非常に多くなる所がある見込みです。

《花粉症に合併するOAS（口腔アレルギー症候群）》  
OASは、ある特定の果物や野菜などを食べることにより口・唇・喉などの口腔粘膜やその周辺組織にイガイガ感などのアレルギー症状を起こす症状を総称しています。OASの多くは花粉症に合併します。原因は花粉症の原因物質と似た物質が果物や野菜の中に含まれているからと言われています。（花粉との関連が報告されている食物については、弊社HPをご参照下さい。）

アレルギー検査情報  
<http://www.kml-net.co.jp/topix/allergy.htm>

《スギ花粉症における舌下免疫療法》  
2014年10月よりスギ花粉症における舌下免疫療法（SLIT）薬が発売になりました。SLITの対象者は以下の通りです。  
1. 12歳以上を対象とする。  
2. 特異的IgE抗体が病態に関与している症例を対象とする。  
3. 軽症から重症まで治療対象となり得る。  
「スギ花粉症におけるアレルゲン免疫療法の手引き」によれば「複数アレルゲン感作の場合、SLITの方法論は確率していない」と記載されています。  
また、治療開始時期については、スギ花粉飛散時期に開始しないこととされています。※2

(参考資料)

- ※1 萩野敏也：スギ花粉自己診断例のアレルゲン陽性率，耳鼻臨床94, 1073, 2001
- ※2 スギ花粉症におけるアレルゲン免疫療法の手引き  
一般財団法人 日本アレルギー学会

2 最近のC型肝炎ウイルストピックス

C型肝炎ウイルスの持続感染者数(キャリア)は150~200万人いるといわれています。  
毎年、新規のHCVキャリアは10万人当たりで1.8~4.5人増えています。感染媒介は血液で、主に過去の輸血や不適切な医療によるものが大多数です。母子感染はB型肝炎に比べて非常に少なく稀です。検査方法はHCV抗体検査と抗原検査があります。HCV抗体検査は潜伏期間を除いてウイルスが体内にいる限り、ほぼ見落としがなくウイルスが排除された後も抗体があれば陽性となります。  
HCV抗原検査はC型肝炎ウイルスを直接捕まえる検査で潜伏期間は短いです。血中のウイルスの量が少ないと捕らえられません。診断の手順ともいえるフローチャートが厚生労働省から発表されています。

肝炎ウイルス検診フローチャート  
<http://www.keihin.gr.jp/image/kml-pdf/flowchart2015-01.pdf>

2014年度 C型肝炎治療ガイドライン  
<http://www.keihin.gr.jp/image/kml-pdf/guideline2015-01.pdf>

C型肝炎ウイルスが発見されてから4半世紀が経過し、検査法、治療法の進歩は目覚ましく、現在ではほぼ治癒可能な疾患となっています。検診で早期発見し治療を開始できれば肝細胞がん等の発症リスクを下げることができます。

治療法として、  
1) DAA(Direct Acting Antivirals)とIFNを組み合わせた療法と  
2) DAAのみのIFN-Free療法の2種の療法が使用されています。  
しかし、薬物服用による副作用の危険性があるため専門医療機関と連携をとり患者様の健康状態を良く把握しておく必要があります。肝炎情報センターのホームページには各都道府県の連携拠点病院や専門医療機関の情報に加え、肝炎に関する最新の情報が掲載されています。

肝炎情報センター  
<http://www.kanen.ncgm.go.jp/>

また、お住まいの自治体から医療費の助成金もできるので、1度自治体にお問い合わせください。

3 ロタウイルスにご注意を

- ロタウイルスについて  
ロタウイルスが流行のピークを迎える季節となりました。例年11月頃から5月頃に流行し、主に乳幼児期(0~6歳頃)に罹患します。  
ピークは2月頃から始まり5月頃まで続き、ノロウイルスと入れ替わるように流行が起きます。  
主に経口感染により感染し、急性胃腸炎を起こします。感染症法における取り扱いは、5類感染症「感染性胃腸炎」に含まれています。

厚生労働省ホームページ参照  
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01.html>

- 感染原因  
人から人への経口感染が大部分を占め、ウイルスに汚染された食品からや、患者の便などに触れた手を介することでも感染するとされています。  
便に含まれるウイルスの量がノロウイルスよりも多いとされている上に、ロタウイルスは感染力が非常に強く、10個以下のウイルスで感染が起きます。  
このため、患者の便中のウイルスが何らかの形で他の人の口に入ると感染します。  
また、汚染された水や食物を介して、或はドアノブや手などから口に入ることで感染します。

- 症状
  - ・ 主症状は下痢（3～8日続き、激しい時には白色で、米のとぎ汁のような便）、おう吐、発熱。重い脱水症状が続く事あり、合併症として痙攣、脳症などが起きて重症化し、死に至る場合もあります。
  - ・ 大人では軽症か、無症状が多いとされています。
- 予防法
  - ・ 調理前・食事前・汚物（おむつなど）処理後に十分手洗いを行います。
  - ・ 食品は十分に加熱（85℃、1分以上）することで、感染性を無くすることが出来ます。
  - ・ 食器や調理器具・おもちゃなどは、洗浄後に熱湯消毒または次亜塩素酸ナトリウム（200ppm）で浸した後に、十分水洗を行います。
  - ・ アルコール・石鹼はウイルスの失活化には、効果が薄いです。
  - ・ トイレ等の汚染区域は手袋着用の上、次亜塩素酸ナトリウム（1000ppm）で拭きます。
  - ・ 予防ワクチン（任意・有料）接種が出来ます。（2011年11月21日から）

\*\*\*\*\*

検査項目	:	ロタウイルス抗原
項目コード	:	5511
検査材料	:	糞便1g
容器番号	:	20
保存方法	:	凍結保存
検査実施料	:	65点
検査判断料	:	144点（免疫）
検査方法	:	イムノクロマト法
所要日数	:	2～4日
基準値	:	（－）

\*\*\*\*\*

-----  
 [ 4 ] KMLインフォメーション 11月～1月分のお知らせ  
 -----

前回メールニュースを配信しました後から現在までに発行されました「KMLインフォメーション」についてお知らせ致します。

各インフォメーションにつきましては、医院様へ随時お届けしておりますが、ご確認などに活用して頂ければ幸いです。

2014年 12月12日 検査内容変更のお知らせ  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2014-1212-1.pdf>

2014年 12月12日 越年不可能項目 平成26年年内最終受付のご案内  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2014-1212-2.pdf>


2014年 12月12日 26年年内報告可能最終受付日一覧表  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2014-1212-3.pdf>

2015年 1月15日 検査内容変更のお知らせ  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2015-0115-1.pdf>

2015年 1月15日 細菌検査報告書改訂のお知らせ  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2015-0115-2.pdf>

2015年 1月20日 検査一時受託中止のお知らせ  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2015-0120.pdf>

■ □ = = = = =

 最後までお読み頂きまして有り難う御座いました。

編集／発行 <http://www.kml-net.co.jp/>  
 株式会社 京浜予防医学研究所  
 〒216-0001 神奈川県川崎市宮前区野川 1432-1

= = = = = □ ■